

お知らせ

「環境研究総合推進費 5-2401(環境中 PFAS の包括的評価を目指した総 PFAS スクリーニング測定技術の開発)他に関する研究発表会」を「国民との対話」として開催します。

開催日 2025 年 5 月 22 日(木曜日) 13:00-17:00

開催場所

産総研臨海副都心センター(東京都江東区青海 2 丁目)

アクセス (事前入構手続きが必要です、早期申し込みの方には事務局で手続きいたします)

<https://www.aist.go.jp/waterfront/ja/access/>

聴講無料、事前登録必須、申し込み先 : PFAS 対策技術コンソーシアム事務局
(pfas.info@campuscreate.com)

申し込み締め切り 2025 年 5 月 16 日(金曜日)

事前登録必須です。定員 80 名を超えた段階で締め切らせていただきます。

以下、暫定プログラム

2025 年 5 月 22 日 (木曜日)

13:00-13:30

・環境研究総合推進費 5-2401(環境中 PFAS の包括的評価を目指した総 PFAS スクリーニング測定技術の開発)の進捗について、研究代表 谷保佐知

(参考 Zhaoyu Jiao, Sachi Taniyasu, Nanyang Yu, Xuebing Wang, Nobuyoshi Yamashita, Si Wei. Two-layer homolog network approach for PFAS nontarget screening and retrospective data mining, Nature communications, 2025)

13:30-14:00

・新技術を用いた大気中 PFASs の全国実態調査、大阪市立環境科学研究センター 浅川大地

(参考 Daichi Asakawa, Huiju Lin, Yuefei Ruan, Sachi Taniyasu, Leo W. Y. Yeung, Toshiki Tojo, Makiko Ichihara, Eriko Yamazaki, Nobuyasu Hanari, Paul K. S. Lam, Nobuyoshi Yamashita. Characterizing Seasonal Patterns, Gas-Particle Partitioning, and Potential Sources of Airborne Per-and Polyfluoroalkyl Substances in Japan, Environ. Sci. Technol. 2025. <https://doi.org/10.1021/acs.est.4c14109>)

14:05-15:30

「国際連携 PFAS ラボ 666 (トリプルシックス)」研究発表会

Leo Yeung 他 5 名

・ノルウェー人コホートにおけるヒト血液中の既知の PFAS と未知のフッ素系化学物質のマスバランス解析 (ヒト血液中 PFAS マスバランス解析により、従来の個別化合物測定技術では未知のフッ素系化学物質のリスク評価が不可能なことが判明し、総 PFAS 評価の必要性が明らかとなった)

・果汁中のトリフルオロ酢酸 (TFA) に関する分析 (PFAS の分解産物である TFA による農産物汚染状況調査が急務となっており、欧州標準分析法提案のための分析法開発を行った)

・AFFF 汚染土壌のマスバランス解析 (Extractable organofluorine mass balance analysis of aqueous film-forming foam-impacted soils: Sample pretreatment and a combination of target analysis and suspect screening, Environ. Sci. Technol. に掲載されたばかりの研究報告。従来行われている PFAS のターゲット分析では土壌汚染直後の分散状況を再現する事はできない。産総研が開発した総 PFAS 分析技術を用いる事で、どのように汚染が広がり、どの成分が残留し続けるかがわかる)

・他 2 件

15:30-15:45

参加者全員による意見交換会及び懇親会

15:45-17:00

PFAS 対策技術コンソーシアム有志による講演及び新技術紹介

SEMI と半導体業界における PFAS 対策活動紹介」SEMI Japan、枝 礼子 様

他 2 件程度

PFAS 対策技術コンソーシアムの 2025 年度計画について (事務局)





